

令和元年10月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,599,049</b>	<b>190,222</b>	<b>1,379,884</b>	<b>53.1%</b>	<b>1,219,165</b>		
1. 営業収益	2,258,690	185,960	1,349,671	59.8%	909,019		
1. 給水収益	2,229,440	185,297	1,321,672	59.3%	907,768		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,250	663	27,999	95.7%	1,252		
2. 営業外収益	340,220	4,262	30,074	8.8%	310,146		
3. 特別利益	139		139	100.2%	△ 0		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,690,541</b>	<b>75,499</b>	<b>668,523</b>	<b>24.8%</b>	<b>2,022,018</b>	<b>923,328</b>	<b>34.3%</b>
1. 営業費用	2,469,885	75,499	568,053	23.0%	1,901,832	822,858	33.3%
1. 原水及び浄水費	505,430	32,879	217,584	43.0%	287,846	336,109	66.5%
2. 配水費	374,300	16,817	155,933	41.7%	218,367	196,005	52.4%
3. 給水費	112,081	6,272	58,256	52.0%	53,825	68,618	61.2%
4. 受託工事費							
5. 業務費	164,244	13,041	80,739	49.2%	83,505	155,013	94.4%
6. 総係費	123,993	6,490	55,541	44.8%	68,452	67,113	54.1%
8. 減価償却費	1,131,737				1,131,737		
9. 資産減耗費	58,100				58,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	199,969		100,254	50.1%	99,715	100,254	50.1%
3. 特別損失	4,386		215	4.9%	4,171	215	4.9%
4. 予備費	16,301				16,301		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,151,379</b>	<b>462</b>	<b>37,913</b>	<b>3.3%</b>	<b>1,113,466</b>		
1. 企業債	705,500				705,500		
2. 負担金・補償金	80,866		31,489	38.9%	49,377		
3. 補助金	183,333				183,333		
4. 出資金	172,304				172,304		
5. 加入金	9,376	462	6,424	68.5%	2,952		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>2,525,302</b>	<b>3,068</b>	<b>451,174</b>	<b>17.9%</b>	<b>2,074,128</b>	<b>1,341,386</b>	<b>53.1%</b>
1. 建設改良費	1,522,429	3,068	104,928	6.9%	1,417,501	995,140	65.4%
1. 取水施設整備費	66,059				66,059	30,800	46.6%
2. 導水施設整備費							
3. 浄水施設整備費	105,721		5,173	4.9%	100,548	68,885	65.2%
4. 送水施設整備費							
5. 配給水施設整備費	1,346,294	3,068	98,386	7.3%	1,247,908	891,924	66.3%
6. 管理施設整備費	2,055		1,369	66.6%	686	2,738	133.2%
7. 消防設備整備費	2,300				2,300	792	34.4%
2. 企業債償還金	702,873		346,246	49.3%	356,627	346,246	49.3%
3. 長期貸付金	300,000						
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,968</b>	<b>2,384</b>	<b>16,793</b>	<b>35.0%</b>	<b>31,175</b>	<b>16,793</b>	<b>35.0%</b>
①有収水量	7,779,100	643,143	4,609,572	59.3%	3,169,528		
②供給単価	286.59	288.11	286.72	100.0%	△ 0.13		
③給水原価	345.30	117.39	144.98	42.0%	200.32		
<b>人件費</b>	<b>237,115</b>		<b>87,600</b>	<b>36.9%</b>	<b>149,515</b>		
1. 収益の収支	193,023		68,454	35.5%	124,569		
1. 職員給与費	192,901		68,454	35.5%	124,447		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122				122		
2. 資本的収支	44,092		19,146	43.4%	24,946		
* 職員給与費	236,993		87,600	37.0%	149,393		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%				5.2%		
2. 全職員	10.6%				6.6%		

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>46,693,251</b>	<b>46,792,231</b>	<b>98,980</b>	
*減価償却累計額	19,970,899	19,970,899		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,130,168</b>	<b>3,269,616</b>	<b>139,448</b>	
1. 現金預金	2,628,502	2,867,892	239,390	
2. 未収金	450,396	205,341	△ 245,054	
3. 貸倒引当金	△ 5,115	△ 5,115		
4. 貯蔵品	34,447	35,058	611	
5. 前払費用・前払金	16,824	116,532	99,707	・工事前払金等
6. その他		44,794	44,794	・仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>634,440</b>	<b>634,440</b>	
1. 営業費用		533,987	533,987	
2. 営業外費用		100,254	100,254	
3. 特別損失		199	199	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>53,782,295</b>	<b>54,655,164</b>	<b>872,868</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,719,131</b>	<b>11,719,131</b>		
1. 企業債	11,460,827	11,460,827		
2. 引当金	258,304	258,304		
<b>F. 流動負債</b>	<b>929,242</b>	<b>484,954</b>	<b>△ 444,289</b>	
1. 企業債	697,683	351,437	△ 346,246	・償還元金
2. 未払金	216,415	32,005	△ 184,411	
3. 前受金	26	31	5	
4. 引当金	14,621		△ 14,621	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	496	101,481	100,984	
うち仮受消費税		100,640	100,640	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>10,236,815</b>	<b>10,274,245</b>	<b>37,429</b>	
1. 長期前受金	10,236,815	10,274,245	37,429	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,958,876	3,958,876		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,683,621</b>	<b>10,683,621</b>		
1. 自己資本金	10,683,621	10,683,621		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>237,472</b>	<b>237,472</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	214,572	214,572		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>1,279,728</b>	<b>1,279,728</b>	
1. 営業収益		1,251,767	1,251,767	
2. 営業外収益		27,832	27,832	
3. 特別利益		129	129	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>53,782,295</b>	<b>54,655,164</b>	<b>872,868</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.48	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	137.59	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	262.68	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	74.13%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.23%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	673.16%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	591.37%	=現金預金÷流動負債	

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 令和元年10月期 業務実績報告書（水道管理課）

## 一 般 事 項

### 1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,410	213,159	212,600	213,396	559	△ 237
2 調定水量	m <sup>3</sup>	638,873	4,578,875	4,595,000	4,630,338	△ 16,125	△ 51,463
3 調定料金(税抜)	円	171,457,562	1,222,934,322	1,223,000,000	1,233,858,356	△ 65,678	△ 10,924,034
4 口振加入件数	件	25,105	175,957	—	176,099	—	△ 142

### 2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	78,822	—	79,840	△ 1,018
6 給水件数	件	30,214	—	30,222	△ 8
7 開栓処理件数	件	252	1,833	1,680	153
8 閉栓処理件数	件	304	1,789	1,688	101
9 給水工事設計審査	件	86	498	473	25
10 給水工事竣工検査	件	105	554	571	△ 17
11 経年メーター交換	件	233	3,732	3,333	399
12 メーター口径変更	件	5	37	37	0
13 月末停止件数	件	△ 3	108	115	△ 7

### 3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	195,761,129円	85.18%	197,977,091円	85.15%
15 過年度分	4,834,989円	97.45%	5,246,155円	97.29%
16 計	200,596,118円	—	203,223,246円	—

### 4 給水装置工事指定業者

(市外1者廃止)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
17	8	15	12	13	9	8	14	6	102	120	222

### 5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
入札件数	16 / 16	78 / 83	14 / 14	48 / 52	0 / 0	7 / 7	2 / 2	5 / 6	0 / 0	18 / 18	0 / 0	0 / 0
契約締結	一般	7	24	7	24	0	0	0	0	0	0	0
	指名	6	42	5	17	0	7	1	1	0	17	0
	随契	3	12	2	7	0	0	1	4	0	1	0
	合計	16	78	14	48	0	7	2	5	0	18	0

《中止 当月 0件 / 累計 1件》《不調 当月 0件 / 累計 5件》《取消 当月 0件 / 累計 0件》《未契約 0件》

### 6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	11	2	工事
中間検査	10	3	工事
合計	21	5	

### 7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
部長等連絡調整会議	4日	10月 事業打合せ等
安全衛生委員会	8日	第7回 公用車一斉点検について 他
水道ブースター会議	—日	—
給水拠点設置訓練	—日	—
所内連絡会議	23日	9月期 各種経営分析等
例月出納検査	24日	9月期 例月出納検査
指名委員会	15・28日	第18回・第19回
入札	10・17・23・31日	4件・4件・4件・4件
緊急メールの発信	—日	漏水 16、破損 4、断水 5、取停 3、水質 1、配備 3

## 特 記 事 項

### 1. 10月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は171,569千円（税抜）で、前月期に比べて10,877千円の減、予算執行率59.3%（前年度59.9%）、対前年同月比（累計）では10,429千円（税抜）の減となっています。営業収益は手数料収益663千円を含む185,960千円、営業外収益は事務手数料3,923千円、水道管破損等による補償金339千円等で4,262千円となりました。

当期の営業費用は75,499千円を執行し、累計額は568,053千円、予算執行率（累計）23.0%（前年度22.7%）となりました。営業外費用、特別損失の当期執行はありませんでした。

##### イ 資本的収支

当期の収入は加入金462千円を執行し、累計額は25,746千円、予算執行率（累計）2.3%（前年度1.6%）となりました。

支出は、配給水施設整備費3,068千円を執行し、累計額416,019千円、予算執行率（累計）16.7%（前年度18.7%）となりました。

##### ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に2,384千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 登米市産業フェスティバルに参加

10月6日（日）に第15回登米市産業フェスティバルが開催されました。水道事業所では、第1回から継続して出展しており、今回も水道事業をPRするため、様々な取組みを展示しました。また、令和2年4月1日から水道事業所と下水道課が組織統合し、上下水道部となることから、今回は下水道課との合同出展としました。

水道事業所・下水道課職員の他、包括委託業務受託者である明電舎、お客様センター、管工事組合等の職員も参加し、市販水と登米市水道水の飲み比べ、耐震管の模型を使った説明、漏水探査機体験、展示物の中から回答を探す水道クイズ、マンホールカードの展示等、水道・下水道をより身近に感じていただくためのPRを行いました。

今後も積極的に情報発信を行い、皆様に信頼される事業運営を目指します。



ブースの様子

水の飲み比べ

漏水探査機体験

マンホールカードの展示

#### (2) 災害訓練を実施

11月1日（金）に10月期の災害訓練を実施しました。

今回は、台風19号に係る災害対応の検証を行ったものです。施設管理等の業務受託者も参加し、職務分担班ごとに今回の対応に係る課題について意見を出し合い、その後、全体で今後の対応策について検討を行いました。今回の検証を活かし、今後、更には的確で迅速な対応ができるよう努めます。



訓練の様子

# 令和元年10月期 業務実績報告書（水道施設課）

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	823,198	5,820,071	5,706,520	5,795,358	113,551	24,713
総配水量	761,684	5,408,216	5,313,330	5,331,133	94,886	77,083
1 有効水量	693,032	4,947,286	4,973,950	4,988,254	△ 26,664	△ 40,968
(1) 有収水量	643,143	4,609,572	4,624,500	4,661,694	△ 14,928	△ 52,122
(2) 無収水量	49,889	337,714	349,450	326,560	△ 11,736	11,154
2 無効水量	68,652	460,930	339,380	342,879	121,550	118,051
(1) 漏水量	68,374	458,536	335,000	338,191	123,536	120,345
(2) その他無効水量	278	2,394	4,380	4,688	△ 1,986	△ 2,294
3 有収率	84.44%	85.23%	87.04%	87.44%	-1.80%	-2.21%

※ 当月期の最大配水量は、9日（水）に記録した【25,911m³】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施 工 中 (B)		竣 工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	3	66,059	1	30,800			35,259	46.62%
ウ 浄水施設整備事業	11	105,721	6	63,712	1	5,173	36,836	65.16%
オ 配給水施設整備事業	76	1,309,798	33	793,539	12	63,231	453,028	65.41%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

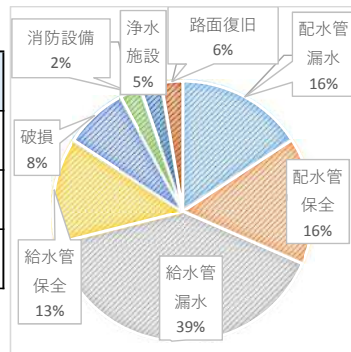
#### ◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4 mg/l 以上

	保呂羽浄水場 F 1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.74	0.33	0.43	0.56	0.41
最高	0.80	0.63	1.10	0.70	0.51
最低	0.69	0.15	0.10	0.50	0.20

#### ◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水 施設	路面 復旧	その他	計
月計	6	6	15	5	3	1	1	1	0	38
累計	28	55	84	26	20	11	5	19	0	248
前年同 月累計	51	75	61	14	13	14	6	19	0	253



## 特 記 事 項

### 1. 台風第19号の発生により水道施設に被害が発生

10月12日から13日にかけて台風第19号の接近・通過に伴い、市内では津山町横山宮田地区で総雨量が372.0mmとなるなど猛烈な雨が降りました。その影響により、市内全域で大きな被害が発生しましたが、特に東和町、登米町及び津山町の山間地域において土砂崩れや河川の氾濫など甚大な被害が発生しました。

水道施設においても、河川の増水による水道管の破損や浄水施設の敷地土砂が流出するなどの大きな被害が発生しました。東和町米川地区にある大綱木浄水場においては、付近の道路や浄水場基礎部分の土砂が洗掘し、倒壊する恐れがありました。そのため、応急復旧が完了するまでの間（10月13日～16日）、隣接する配水池へ給水車による補水を行いながら、同地区への給水を行いました。16日に応急復旧が完了し、浄水場の通常運転を開始しました。また、東和町米川寺内地区では、河川の堤防の決壊による配水管の破損し51件で断水となりました。同日中に復旧工事が完了しています。

その他、市内では計15箇所において漏水等の被害が発生しています。今後においては、補助金等を活用し施設の早期完成を目指し復旧工事を行っています。

また、大雨により北上川の濁度が上昇し、下り松ポンプ場の原水が13日午前5時に336度の高濁度となりました。基幹浄水場の保呂羽浄水場は運転を行い浄水処理を続けましたが、水道水の安全確保のため石越浄水場など3浄水場の運転を停止し、保呂羽浄水場からの連絡管などにより給水を行いました。

水道事業所では、今後も安全で安心した水を安定的に供給するため災害に強い水道を目指し事業を推進して行きます。

### 2. 丸森町へ給水応援を実施

10月31日から台風第19号の影響により、断水が発生した丸森町に給水応援を実施しました。

これは日本水道協会宮城県支部「災害時相互応援計画」に基づいた応援要請があり行ったものです。

水道事業所からは、給水車1台と職員及び委託業者の職員により、丸森町鉾矢間地区の介護老人福祉施設への給水活動を行っています。当初派遣期間は7日間の予定でしたが、11月2日に町内全域で断水が解消したことに伴い、11月1日までの給水応援となりました。派遣職員からは「震災時は各地から応援をいただいたので、少しでも役立てるよう任務にあたりたい」と話していました。

### 3. 令和元年10月の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、漏水調査を実施しています。10月末の漏水調査の結果は、15件27,726m³/h(累計)の漏水を発見しました。9月末での有収率は85.23%となっています。継続的に漏水調査を実施しながら、老朽管の更新工事を進め、令和元年度末で、計画有収率87.0%を目指します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	6	11.486
	付属施設	0	0.000
	給水管	9	16.240
	計	15	27.726



大綱木浄水場の基礎部が洗掘している様子



土石流により道路が洗掘され配水管が露出している様子



水管橋が破断し漏水している様子



貯水槽へ補水している様子